

やまなし障害者プラン2015(仮称)掲載項目(案)

山梨県障害者計画

基本的な事項(趣旨、位置付け、期間等)

基本的な考え方

障害者の現状把握

共生社会を実現するための課題整理

施策の展開

施策目標:(1) 誰もが暮らしやすいまちをつくるために

ア ユニバーサルデザインの推進

- a 住宅の確保
- b 公共的施設等のバリアフリー化の推進
- c 障害者に配慮したまちづくりの総合的な推進
- d 公共交通機関のバリアフリー化の推進

イ 安全・安心の確保

- a 防災対策の推進
- b 防犯対策の推進
- c 消費者トラブルの防止及び被害からの救済

施策目標:(2) 生まれ育ち住み慣れたまちで暮らすために

ア 自己選択・自己決定の支援

- a 相談支援体制の構築
- イ 差別の解消及び権利擁護の推進
- a 障害を理由とする差別の解消の推進
 - b 権利擁護の推進

ウ 障害福祉サービスの充実

- a 在宅サービス等の充実
- b サービスの質の向上等
- c 人材の育成・確保

エ 保健・医療の充実

- a 障害の原因となる疾病等の予防・治療
- b 保健・医療の充実等
- c 精神保健・医療の提供等
- d 人材の育成・確保
- e 難病に関する施策の推進

施策目標:(3) 自らの力を高め地域でいきいきと活動するために

ア 教育の充実

- a 障害児支援の充実
- b インクルーシブ教育の推進
- c 教育環境の整備

イ 雇用・就労の支援

- a 障害者雇用の促進
- b 総合的な就労支援
- c 障害特性に応じた就労支援及び多様な就業の機会の確保
- d 経済的自立の支援

ウ 社会参加への支援

- a 情報提供の充実等
- b 意思疎通支援の充実
- c 行政情報のバリアフリー化
- d 行政サービス等における配慮及び障害者理解の促進等
- e 文化芸術活動、スポーツ等の振興
- f 障害者等の国際交流の推進
- g 選挙等における配慮の推進

推進体制

山梨県第4期障害福祉計画

国の基本指針等踏まえて、市町村が現在のサービス利用状況等の分析や障害のある人を対象としたアンケート調査の実施等により利用者のニーズを把握し、地域の実情に即してサービス見込量を設定する。

県は市町村のサービス見込量を集計して、県全体のサービス見込量を設定する。

地域生活移行・就労支援等に関する数値目標及びサービスの見込量等(案)

1 平成29年度における地域生活移行・就労支援等に関する数値目標

- (1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行
- (2) 入院中の精神障害者の地域生活への移行
- (3) 地域生活支援拠点等の整備(新規)
- (4) 福祉施設から一般就労への移行等

2 各年度の指定障害福祉サービス等の見込量

3 各年度の指定障害者支援施設の必要入所定員総数

4 サービス提供を担う人材の確保・養成

- (1) 障害福祉サービス等に係る人材の研修
- (2) 障害福祉サービス等に係る事業者に対する第三者評価
- (3) 障害のある人等に対する虐待の防止

5 県の地域生活支援事業

6 障害保健福祉圏域単位を標準とした指定障害福祉サービスの見通し及び計画的な基盤整備の方策

障害児支援体制の整備(新規)